

令和2年7月30日

1. 出席議員

議長	山口昌宏	副議長	末藤正幸
1番	坂口正勝	2番	豊村貴司
3番	猪村利恵子	5番	江口康成
6番	吉原新司	7番	上田雄一
8番	古川盛義	9番	吉川里己
11番	松尾陽輔	12番	池田大生
13番	石橋敏伸	14番	宮本栄八
15番	松尾初秋	17番	川原千秋
18番	牟田勝浩	19番	杉原豊喜
20番	江原一雄		

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局長	川久保和幸
次長	山口美矢子
議事係長	奥幹久
議事係員	田中弘一

#### 4. 地方自治法第121条により出席した者

市		長	小	松		政
副	市	長	北	川	政	次
教	育	長	松	尾	文	雄
総	務	部	山	崎	正	和
総	務	部	諸	岡	利	幸
企	画	部	庭	木		淳
営	業	部	山	口	智	幸
こ	ど	も	牟	田	由	紀
ま	ち	づ	野	口	和	子
	く	り				信
	部	長				

---

議 事 日 程 第 1 号

7月30日(木) 10時開議

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	市長の提案事項に関する説明
日程第4	第57号議案 令和2年度武雄市一般会計補正予算(第10回)(質疑・所管常任委員会付託省略・討論・採決)

---

開 会 10時

○議長(山口昌宏君)

皆さんおはようございます。ただいまより令和2年7月武雄市議会臨時会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました第57号議案を上程いたします。

それでは日程に基づき議事を進めます。

**日程第1 会期の決定**

日程第1. 会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問いたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。古川議会運営委員長

○議会運営委員長(古川盛義君)〔登壇〕

おはようございます。議会運営委員会の答申を申し上げます。

令和2年7月武雄市議会臨時会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、本日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告申し上げます。

議長から諮問があった事項は、第1. 付議事件について、第2. 会期及び会期日程について、第3. 付議事件の委員会付託の要否について、以上3項目でございます。

本臨時会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました予算議案1件でございます。

以上の件につきまして協議いたしました結果、議案の審議につきましては、所管の常任委員会付託を省略し、即決して差し支えない旨、意見の一致を見ました。

協議の結果、会期は本日30日の1日間が適当である旨決定をいたしました。

答申は以上でございます。

また、議場における新型コロナウイルス感染症対策について、武雄市内で3か月ほど感染者が発生していないことも考慮し、全議員、自席の着席といたしました。

なお、入場の際は手指消毒と議場内でのマスク着用をすることをお願いし、発言の際は、マスク着用のまま発言することといたしました。

以上であります。

#### ○議長（山口昌宏君）

お諮りいたします。会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日 30 日の 1 日間と決定いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日 30 日の 1 日間と決定をいたしました。

#### 日程第 2 会議録署名議員の指名

日程第 2. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第 88 条の規定により、12 番池田議員、15 番松尾初秋議員、19 番杉原議員の以上 3 名を指名いたします。

#### 日程第 3 市長の提案事項に関する説明

日程第 3. 市長の提案事項に関する説明を求めます。小松市長

#### ○小松市長〔登壇〕

おはようございます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除後、ここに来て佐賀県内を含む全国各地で新型コロナウイルス感染者が徐々に増えてきています。

感染拡大を防ぐためには、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや消毒など一人一人の基本的感染対策が重要です。

議員の皆様をはじめ、市民の皆様一人一人が「正しく恐れる」とともに、それぞれの日常生活において、御自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践していただきますよう引き続きお願い申し上げます。

さて、令和 2 年 7 月武雄市議会臨時会の開会に当たり、提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

「令和 2 年度武雄市一般会計補正予算（第 10 回）」では、新たな学びに対応した学習環境を整備するとともに、学校休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備えるため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や G I G A スクール構想事業の補助金を活用し、全児童生徒の学習用端末等の更新に要する経費をお願いするものです。

また、令和 2 年梅雨前線豪雨等災害関連事業として、農地等の災害復旧に要する経費をお願いするとともに、7 月 14 日に五光建設株式会社様、株式会社五光様、株式会社大平商会様及び株式会社西村商会様からいただきました指定寄附を活用し、被災地支援の物資の購入に要する経費等をお願いいたしております。

詳細につきましては、御審議の際に補足させていただきたいと存じます。よろしく御審議

賜りますようお願い申し上げます。

○議長（山口昌宏君）

これより審議を開始いたします。

日程第4 第57号議案

日程第4. 第57号議案 令和2年度武雄市一般会計補正予算（第10回）を議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。山崎総務部長

○山崎総務部長〔登壇〕

おはようございます。第57号議案 令和2年度武雄市一般会計補正予算（第10回）について補足説明申し上げます。

市長が申し上げた部分と重なる部分があるかと思いますが、今回の補正予算につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金やGIGAスクール構想事業の補助金を活用し、新たな学びに対応した学習環境を整備するため、また、学校の休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備え、全児童生徒の学習用端末の更新や電子黒板の購入等の経費をお願いするものであります。

また、令和2年梅雨前線による豪雨災害に迅速に対応するため、農地等の災害復旧に要する経費や、7月14日に五光建設株式会社様、株式会社五光様、株式会社大平商会様、株式会社西村商会様から各50万円、計200万円いただきました指定寄附を活用し、被災地への支援物資の購入に要する経費などをお願いしております。

補正予算書1ページを御覧ください。

第1条の歳入歳出予算の補正では、歳入歳出にそれぞれ3億6,789万5,000円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ312億7,380万9,000円とするものでございます。

予算説明書の（4）ページを御覧ください。

3款. 民生費では、指定寄附を活用し、被災地への支援物資の購入に要する経費を計上しております。

なお、7月13日にお届けした日田市への支援物資の際には、市内外の皆様や株式会社山崎建設様、松尾一建工業株式会社様、株式会社本山建設様より物資の支援をいただいておりますので、ここで御報告させていただきます。

続きまして、10款. 教育費では、学習用端末や電子黒板などの備品購入に要する経費を計上しております。

11款. 災害復旧費では、豪雨により災害を受けた農地等の復旧に向けた測量設計業務委託料などを計上しております。

予算説明書の（3）ページを御覧ください。

歳入につきましては、国庫支出金及び指定寄附金を計上したほか、財政調整基金により財

源の調整をいたしております。

以上で補足説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

**○議長（山口昌宏君）**

第 57 号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑通告がっておりますので、まず、これを許可いたします。20 番江原議員

**○20 番（江原一雄君）〔登壇〕**

今回、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しての予算ですが、この間、国が 2 次補正をされて、国の 2 次補正で武雄にくる額は幾らですか。これが 1 つ目。

2 つ目に、この額について、この間、執行部等対応されているかと思いますが、どういう取組をされているのか。

3 つ目に、今回、補正予算を見てびっくりしたんですが、3 分の 1 近く、学校教育のタブレットの更新ということですが、感染症対策として、今、市長は休業に対応するためタブレットの更新について予算を提案したと。

でも、教育について、この間、地方創生臨時交付金は様々使えるようになってきているのですが、少人数学級など、様々な方法が学校現場でも必要かと思えます。

しかし、今回提案されたのは、更新の額であります。約 3 億円。

本来、学校教育とは、この 5 月 15 日に、学校教育は教師から児童生徒への対面指導、児童同士の関わり合い等を通じて行われる。そして、3 つ目に、地域の交わりですね。それが学校教育の基本ではないかなと思うんです。

だから、あくまでも学校の休校、休業ではなくて、いかに学校現場が授業ができる体制をつくるのか。そのためには 3 密を回避するために少人数学級が今、大きく叫ばれております。

こういう様々な方法があると思いますが、現場で、教育委員会等を含めて、検討や議論を経て今回の補正予算を要求することに、どういうふうな議論を経て提案されているのか、市長並びに教育長含めて答弁いただければと思います。御答弁よろしく願いいたします。

**○議長（山口昌宏君）**

庭木企画部長

**○庭木企画部長〔登壇〕**

おはようございます。まず、1 点目の 2 次配分額についてでございますけど、6 億 3,498 万円でございます。

それから 2 点目でございますが、新型コロナウイルス感染症へ対応するための効果的な事業や各地域に期待する取組といたしまして、内閣府が想定しております施策テーマ、地域未来構想 20 を実現するための事業を現在リストアップしております。

今後、議会におきまして補正予算案を提案し、御審議いただく予定でございます。

以上でございます。

○議長（山口昌宏君）

牟田こども教育部長

○牟田こども教育部長〔登壇〕

おはようございます。今回、補正予算をお願いすることになりました経緯についてでございますけれども、このコロナ禍において、学校の臨時休業等の緊急時において必要な教育活動を継続させて学びを保障させるとともに、GIGAスクール構想の下、個別最適化学習や不登校児対応など、多様な学びを保障していくためにオンライン学習があると考えております。

有事だけではなくて平常時から活用していくために、学習者用端末等機器の購入のための予算をお願いしております。

これが経緯でございます。

○議長（山口昌宏君）

20番江原議員

○20番（江原一雄君）〔登壇〕

もう一点お尋ねしますが、1次補正と比較しまして3倍の、2億から6億ですので、本当に感染症対策、様々な取組が求められるし、市民のこの間、各自治体で、県内でもいろんな取組が行われているし、我が武雄市でもいろいろな取組がされております。すべての市民に、やっぱり支援の手が差し伸べられる施策が求められていると思います。

近隣の自治体でも、1人1万円とか、すべての町民に商品券、そういう問題含めて、そういう中で今回、補正予算を見て、今、部長、リストアップしていると。

このスケジュールについてはどういう流れで提案、また、市民の意見を、また、議会の意見を聴取するようにされているのかどうかお尋ねしたいし、こども教育部長の答弁ありましたけれども、学校現場の3密対策、現在144小中学校クラスがあるんですよね、普通クラス。このうち20クラスが30人を超えている。特に御船が丘小学校5年生は39.7名の教室です。

ですから、学校現場でも、この3密を回避しようとしたら、もう手が出ないと。

だから、そういう意味では、プレハブでも造って、そして退職された先生、あるいは現職で、そういう学校先生、そして支援員の先生、これもやっぱり先生がいなければ教室を新たにつくっても駄目ですから、これは全国、国も含めて今、声が広がっておりますので、そういう意味では今、答弁の中で、学習、更新ですけどね、タブレット。

でも、その休業の前にやること、課題がどれくらい論議されて、3密対策の解消についてどのような検討や議論をしてきたのか答弁いただきたいと思います。

以上です。

○議長（山口昌宏君）

庭木企画部長

**○庭木企画部長〔登壇〕**

現在、各課のほうから必要とされる事業が上がってきております。

今、企画政策課のほうにおいてしっかりとリストアップしたものについて精査を行っております。精査でき次第、先ほど申したとおり、議会のほうにお諮りいたしまして、御審議いただくよう進める所存でございます。

**○議長（山口昌宏君）**

牟田こども教育部長

**○牟田こども教育部長〔登壇〕**

学校の3密対策については、常日頃から感染症対策といたしまして、身体的距離の確保、マスクの着用、それから常時換気、消毒等、徹底をしているところでございます。

それに加えて、今回は緊急時の対策に加えて平常時でも活用できるようにということで、オンライン授業の整備のための機器等の購入についての予算をお願いしているところです。

**○議長（山口昌宏君）**

20番江原議員

**○20番（江原一雄君）〔登壇〕**

市長に簡潔にお尋ねしたいんですが、今タブレット更新の提案は休業のためと報告されたので、本当に教育を援助する上で、市長自身、休業にならないための施策について、学校現場への援助、どのように考えておられるか、この提案、背景を含めてですけど、ちょっと今、答弁、学校現場、教育部ではありませんでしたので、市長の認識はいかがですか。

**○議長（山口昌宏君）**

小松市長

**○小松市長〔登壇〕**

学校現場の話は、私、所管ではありませんので、具体的に指示もできないような立場ではあるんですけども、考えとしましては、文部科学省の通知にしっかりと沿って、私たちはこれまでも、そしてこれからもしっかりと3密対策をやっているし、これからもやっていくということでありまして。

**○議長（山口昌宏君）**

それでは、通告がっておりますので、12番池田議員

**○12番（池田大生君）〔登壇〕**

通告に従って質疑をいたします。

第57号議案の歳入、総務費国庫補助金と教育費国庫補助金の性質についてお尋ねをいたします。

今回のこの補正で、GIGAスクール構想という計画の、5年計画の前倒しでこの国庫補助金、教育のほう来ていると思うんですけど、これたしか、申請をしてこの国庫補助金の額



が決定するのかなと、私のイメージでは思っているんですけど。

この額が確定して、端末に関しては4万5,000円の上限があったりとか、ほかの分にも、全額ではなくて上限があるわけですよ。補助の3分の2とか、GIGAスクール構想においてはですね。だから全額の補助じゃない。

今回これを充当するために、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というのが、その足りない部分に充当をされているのかなと思っていますけど、この臨時交付金は今まではいろんな事業に活用されてきましたけど、今回はこれに充当されている。

この臨時交付金の性質として、そういう使い勝手のいい交付金なのか、まず、そこをお尋ねするのと。

次に、GIGAスクール構想、非常に頑張って、武雄は先進地ということで、先にいろんな取組も、さきの補正でもモバイルルーターとか、いろんなGIGAスクール構想に関連したものを、北方中学校で実験というか、実証をやりながら進めてきて、8月には大きくやっついていけると、次につながっていくようになっているとは思っていますよ。

この中で、学習用端末購入ですね。以前、3年ほど前だったか、新しくタブレットを更新をされました。

今回、学習用端末購入費、これがタブレット型なのか、普通のPC型なのか。

そして、これまで使っていたタブレットが、耐用年数がきているのか、それとも今からの学習の、オンライン授業等の学習のやり方に機能が不足しているのか。

それと、その下にあるヘッドセット購入費とか、これも、この辺についても、ウェブカメラとか、これも全校対応型になるのか。まず、ここをお尋ねします。

#### ○議長（山口昌宏君）

牟田こども教育部長

#### ○牟田こども教育部長〔登壇〕

歳入予算では、教育費国庫補助金に1億2,083万5,000円、そして総務費国庫補助金に1億9,506万円ということで、GIGAスクール構想実現のための学習者用端末等の機器購入費、歳出でお願いしておりますけれども、3億1,617万6,000円に対する歳入ということで計上させていただいております。

補助金については、国のほうに申請の要望調査がございまして、内定が既にあっております。

それから、公立学校情報機器整備費補助金、教育費国庫補助金の公立学校情報機器整備費交付金ですけれども、これについては先ほどおっしゃったように、学習者用端末についての、全児童生徒の3分の2が対象で、1台当たり上限4万5,000円というふうになっております。

それに加えて、遠隔学習機能の補助として、オンライン授業用のカメラやマイクも補助対象となっております、こちらのほうが1学校当たり3万5,000円で、補助率が2分の1と

いうふうになっております。

数年前にタブレットを更新したということですがけれども、平成 29 年度に 2,000 台更新をいたしました。耐用年数につきましては、来年度で使用年数が 5 年となりますけれども、平成 28 年度以前の分については既に 5 年を経過をしておりますので、今回、文部科学省が示す標準仕様でございますのがキーボード付きの端末ということになりますので、統一した管理をするために全台購入をするものでございます。

それから、ヘッドセット、そしてカメラについては、教員が使用するものでございます。全普通学級 144 台と、各学校の予備として 16 台、それぞれ 160 台分をお願いしております。

以上でございます。

**○議長（山口昌宏君）**

12 番池田議員

**○12 番（池田大生君）〔登壇〕**

平成 29 年に 2,000 台更新をされたものが来年で 5 年ということで、今回もうまとめて更新をされるということですがけれども、要望調査で一応、内定をもらっているということで、これ出すときに、ある程度の見積り等、やはりする必要があると思うんですよね、その金額を確定させる、先に要望だから。

これで大まかに、どのような標準仕様というか、G I G A スクール構想の仕様書に沿った内容でこの端末の選定をされたのか、それとも武雄市で今やっているオンライン授業等の、それに沿った、使いやすい端末をリストアップされて、その中で見積りをされたと思うんですけれども、今回の積算の基になる、機種等がほぼこのくらいの機能かなというのが固まっているとするならば、その辺をお示ししていただきたいのと。

これ、端末購入に当たっての購入の方法はどのように考えておられるのかと、これまで使っていた、来年で 5 年を迎えるタブレットを、買取りだから、リースじゃないから返却しなくていい。これを全く使わなくするのか、活用の方法は議論されたのか。

そして今回、この G I G A スクール構想の中で、いろんな、これを進めていくうちに教職員さんの負担も増えてくると思うんですよ。

G I G A スクール構想の中の要望の中には、支援員さんの配置とかいろんな、これを進めていくための部分も数多くあったと思うんですけれども、その辺は、今回は端末購入費だけということですが、これ議論されるときに、この辺の支援員さんの増員とか、この辺については議論をされたのかお尋ねします。

**○議長（山口昌宏君）**

牟田こども教育部長

**○牟田こども教育部長〔登壇〕**

学習者用端末の機種というか、OS の種類については、授業の中で児童生徒が操作しやす

くて、それから設計がシンプルで、端末の管理等で評価が高いものということで、クロームOS等を想定しております。

そして、標準仕様がどのようなものかということですが、文部科学省が標準仕様を示しておりますけれども、幾つか申し上げますと、端末の中核でございますCPUがインテルセロン同等以上、そしてストレージが32ギガバイト以上、画面が9から14インチ、ブルートゥース接続ではない日本語JISキーボードつき、カメラ機能つきというふうな標準仕様が表示されておりますので、それに沿って見積もって、予算を計上させていただいております。

それから、購入の方法についてですが、標準仕様に沿って購入をいたしますので、業者の選定に当たっては入札を考えているところでございます。

そして、更新をすることで現在の分はどうするかということですが、平成29年度の購入分を除いて、既に5年以上経過しているものについては、古くなっておりまして廃棄を考えているところでございます。

それから、平成29年度購入分については、どれだけ使えるかということもございまして、セキュリティ上の管理の問題とか、教育で使う以外の一般的な活用のためには、新たにオフィスソフトを入れたり、ウイルス対策ソフトを別途購入しなければならないというふうにランニングコストもかかってきますので、そういうことも考えますと、業者による下取りをしてもらうように考えているところでございます。

**○議長（山口昌宏君）**

12番池田議員

**○12番（池田大生君）〔登壇〕**

前のタブレットは下取り等を考えていくということですね。

選定方法がちょっと聞き取れなかったんで、よかったらもう一度お願いします。

それと、今回の予算、この購入費とか入れて、前もモバイルルーターとか準備をしてこられて、このGIGAスクール構想全体の進捗状況、今どのくらいの予算、今回補正予算で上がっている分まで含めて、このGIGAスクール構想がどのくらいまで進んでいるのか。

それと、今後オンライン、家庭学習等も含めてやっていく上で、セキュリティの問題とか通信設備環境、そういうのも検討が必要になってくるときもあるんじゃないかなと思いますけど、その辺もこの計画の中で視野に入れておられるのかお願いします。

**○議長（山口昌宏君）**

牟田こども教育部長

**○牟田こども教育部長〔登壇〕**

GIGAスクール構想実現への計画進捗状況ということですが、既に武雄市は全児童生徒がタブレットを持っておりますけれども、今回の整備で、これらすべてを更

新するという事で、学習用端末については完了いたします。

それと、今回補正予算でお願いをしております周辺の機器についても整備をしていくようにしておりますので、G I G Aスクール構想実現についての機器整備は完了するというふうに思っております。

それから、支援員、サポート……

[12番「選定の方法」]

選定については入札を考えております。

[12番「一般競争入札か」]

そちらについては、契約検査係で進めてまいりますので、現段階では入札というふうに、そこまででございます。

**○議長（山口昌宏君）**

14番宮本議員

**○14番（宮本栄八君）〔登壇〕**

まず、先ほど池田議員からも出ておりましたけれども、PCなのかタブレットなのかですね、そこをはっきりしてもらいたいという事と、以前も、iPadを検討しているとき、金がかかるからiPad miniならいいんじゃないかって私が言ったら、ケイアンとかなったですね。

結局、まずはPCか、タブレットなのか、それで選定委員会をいつ立ち上げるのか。ちょっと、あまりいっぱい言うといかんで。

今度、ウェブを活用するわけですね。でも、今は1メートル離れておけば別に問題ないとか言っているし、グループ学習の場合にはアクリルパネルをつくらと言われているわけですね。

そしたら、実際いつ使うのかということについて、通常じゃなくて非常時にどういう場面で使うのか、そのPCの問題、選定委員会の問題、その授業がどのくらいの頻度で、どういふときにそれをしようと思っているのか、その3点についてお聞きします。

**○議長（山口昌宏君）**

牟田こども教育部長

**○牟田こども教育部長〔登壇〕**

端末につきましては、現在はタブレットですけれども、モニターにキーボードが一緒になっているPCというふうに想定をしております。画面だけじゃなくてキーボードも使えるようにというふうに、そのようなPCを考えております。

そして、その端末の選定委員会については今のところ考えておりません。

それと活用策ということでございますけれども、3密対策も取りながらということでございますけれども、通常の学校での使い方として、昨日、北方中学校で公開授業がございま

したけれども、学校におけるグループでの共同学習、そして個人それぞれの能力に応じた、習熟度に応じた個別最適化された学習、そして、ほかの学校、例えば海外などとの交流の授業、そして、クラスを分散しての授業など平常時でも活用していきたいと考えております。

○議長（山口昌宏君）

14 番宮本議員

○14 番（宮本栄八君）〔登壇〕

今は1メートル離れておけばいいということで、また今度はアクリルパネルもつくるということで、そしたら実際、非常時のどういうときに、どのくらいの頻度で使うのかというのが分かりませんということを行っているわけですよ。

ちょこちょこ使うというのは、それはいろいろ学校によって使い方あると思いますので、もともとコロナ対策の非常時に使う、いつ使うのかというのが、今の1メートル離れておけばいいというのと、ここの論理がちょっと合わんもんで、非常時の使い方をお尋ねします。

それと、これが3年間の補助事業なわけですよ。それで今年度、3年で分けて全台を整備する。そしたら今回、武雄市が全部入れ替えて、国の補助金1億2,000万円、コロナ対策の1億9,000万円ですよ。

それと来年、再来年、請求できないようになれば、それを使ったほうが、補助金だから3年に分けたほうが補助金的にたくさんいただいてできるんじゃないかと。コロナ対策の分はコロナ対策に回せるんじゃないかという、まだ1年生とか本当に使えるかどうか分からんわけだから一遍にするんじゃなくて、国の補助金にあわせて整備しても、そういうふうにしていったほうがいいんじゃないかなということです。

3点目は、GIGAのお金は1億円で、コロナのほうが2億円近いわけですよ。

今よく言われるのは——コロナ対策は、ニコニコ商品券もすぐ売り切れるし、野菜もすぐ売り切れるし、恩恵のある人とない人が物すごい差があるという苦情があるとですよ。

今度も結局コロナ対策で買えば、武雄市立じゃなくても青陵中学校の人だって家庭で学ばうわけでしょう、通信で、市販のソフトを使って勉強するわけなんですよ。そしたら、同じ子どもであるなら青陵中学校の人もコロナ対策の恩恵を受けんといかんとじゃないか。

学校の予算だったら、それはいいとでしようけれども、その辺の、武雄市立の小中学生以外の人もコロナ対策の恩恵は受けんといかんとおもいますけれども、その3点についてお聞きします。

○議長（山口昌宏君）

牟田こども教育部長

○牟田こども教育部長〔登壇〕

まず、国の補助金の活用で3年に分けたほうがよいということですが、当初のGIGAスクール構想では、令和5年度までに1人1台の端末整備という内容でございましたけ

れども、コロナ禍において、その時期を今年度、全学年を対象に整備をするというふうに、補助金が3年間前倒しになりましたので、今年度に限っての補助金でございます。そのため、全端末更新のためにG I G Aスクール事業の補助金と臨時交付金を活用させていただいているということでございます。

それと、コロナ禍における使い方ということでございますけれども、今オンライン授業については、各学校で操作を学びながら8月には家庭で動作確認をするようにしております。

少しずつではありますけれども、児童生徒も使い方に慣れて習熟をしていくように、それから教員も研修を重ねていきたいと思っております。それぞれの学校の考え方によって、授業の中で使い方の工夫はしていったらいいと思っております。

今回の補助金の活用については、武雄市立の小中学校児童生徒を対象としております。

**○議長（山口昌宏君）**

14番宮本議員

**○14番（宮本栄八君）〔登壇〕**

そうしたら、3年分の補助金を今回、先取りしたやつが1億2,000万円なのかということですよ。

多分、そうではなかとやないか。

3年間で整備するとなつとるけん、おのおのの年に補助金総額があつて、それを割り振るんじゃないかなというふうに思うんですけども、そこのもう一度、確認ですね。

それとさっき言ったこと、青陵中学校とかは考えてないって言いますがけれども、コロナ対策のお金でしているならば、武雄市立だけじゃなくても恩恵を、何かの形で恩恵を受けんといかんと思います。

それと、今パソコンを調べると、「まだ買うな、5Gまで待て」とか書いてあるですよ。大きく変わって、機能が変わってくるからですよ。その辺の5Gに対する考えはどうかということですね。

それと、学校におけるコロナ対策計画とか、学校におけるICT計画というものがはっきりないから何か矛盾を感じるわけなんですよ。

だから、その辺の学校のコロナ対策計画、ICT整備計画というのを、もともとあるのかないのか、その辺についてお聞きします。

**○議長（山口昌宏君）**

小松市長

**○小松市長〔登壇〕**

まず、補助金ですけども、3年間あるとかいう話もありましたけれども、文部科学省から今年度限りという話ですので、まさに今年度整備しなければ補助金は活用できないというふうに、まず、聞いております。それを有効に活用するということです。

5Gについては、Wi-Fiを使わない場合は一台一台通信のお金が莫大にかかります。校内において、もう既に武雄市の場合はLAN環境、Wi-Fiを整備していますので、そういうところを活用していくということですので、考えておりません。

あと、更新については、タブレット、電子黒板等の更新計画は教育委員会のほうで立てているというふうに認識しております。

最後に、全体ですけれども、私も、これまでのコロナ対策では感染予防の徹底、そして市民生活の支援、そしてしっかりとした経済対策、そして次に備える。これをすべて、なるべく目配りをしてバランスよく進めてきたつもりであります。

今回はどちらかという次に備えるという部分ですけれども、ここについては、引き続きしっかりと全体に目配りしながら進めていきたいと考えております。

#### ○議長（山口昌宏君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑をとどめます。

お諮りいたします。本案は所管の常任委員会付託を省略いたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本案は所管の常任委員会付託を省略いたします。

本案に対する討論を求めます。

討論ございませんか。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

討論をとどめます。

これより第57号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、第57号議案は原案のとおり可決されました。

以上で本臨時会の日程をすべて終了いたしました。

これをもちまして、令和2年7月武雄市議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉 会 10時51分

以上、会議の次第を記載し、その誤りなきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

武雄市議会 議長 山口昌宏

〃 副議長 末藤正幸

〃 議員 池田大生

〃 議員 松尾初秋

〃 議員 杉原豊喜

会議録調製者 川久保和幸